



クオーク・エクスペディションズ社
日本地区正規代理店
株式会社 クルーズライフ

世界的な極地旅行のリーダー



感動と浪漫を求めて地球最後の秘境へ

南極

2026-27 Antarctic

南極半島 / 南極圏 / フォークランド諸島 / サウスジョージア島 / パタゴニア



人生に夢と感動を。クルーズライフ

南極の野生生物

南極の食物連鎖は他の海の生態系よりはるかに単純で、一次生産者である珪藻類から高次の生物までの段階数が他の地域よりも少なくなっています。植物プランクトンを食べるオキアミが食物連鎖の重要なリンクを形成し、何百万もの魚やイカ、ペンギン、アホウドリ、ミズナギドリ、アザラシ、ヒゲクジラなどの主要な餌になっています。実際に私たちが南極で出会うほとんどの生物が直接的、間接的に多くのオキアミに依存して生きています。



●ゼンツーペンギン

体長は75～90cm、体重は5～8.5kgほど。大きさはコウテイペンギン、キングペンギンに次いで3番目です。頭に両目をつなぐ白い帯模様と両側がオレンジ色のくちばしが特徴です。



●マカロニペンギン

目の上に生えたオレンジ色の冠羽が特徴で、体長は約70cm。体重は5～6kg程度です。

愛らしいペンギンたち

大型ペンギンの抱卵期間はおおよそ5～6週間ですが、アデリーペンギンとヒゲペンギンは大体7週間、ゼンツーペンギンは14週間で成長し巣立つこととなります。雛は親から口移しに半消化の餌を貰って食べます。ペンギンは滑りやすい岩や氷を登る為に、発達した大きな爪が付いた逞しい足を持っています。



●ヒゲペンギン

体長は70～75cm、体重4～7kgほど。特徴は、顎の下に黒い羽毛の線が走っていて、まるでひげのようです。



●イワトビペンギン

やや小型のペンギン。頭部の「冠羽(黄色の飾り羽)」が特徴。

●マゼランペンギン

フンボルトペンギンに属するペンギン。体長は約70cmで中形のペンギン。



●アデリーペンギン

体長60～70cm、体重5kgほど。特長は、目のまわりには白いアイリングがあり、頭部から背中にかけて羽根が黒色です。



●キングペンギン(オウサマペンギン)

コウテイペンギンに次ぐ大形種で、南極の高緯度部分や亜南極海域の島で繁殖し、体長95cmに達する。魚類やイカを食べ、氷雪のない海岸斜面で集団繁殖する。1個の卵を産み、約55日間抱卵。雛の巣立ちまでの期間は10～13ヶ月を要し、3年に2回の繁殖をします。



● 鵜(ウ)科 Cormorants, Shags

中型の鳥で、長い首と先が曲がった長いくちばし、長くて丸い翼、それに長い楔形の尾を持っています。シャグと呼ばれる種類もいますが、これは繁殖期に現れる鳥冠から来ています。ほとんどの鵜は全体に黒っぽい色をしています。南半球では黒と白の色合いのものが多くなっています。



● カニクイアザラシ Crabeater seal

世界で最も個体数が多いアザラシで、約3千万～7千万頭いると言われています。更にここ数十年間は南極海域のクジラの減少に伴って以前より多量の餌が行き渡るようになったため、個体数が増え続けています。カニクイアザラシは、その名前とは異なり蟹ではなくオキアミだけを餌にしています。



● ヒョウアザラシ Leopard seal

名前が示す通り獰猛な捕食者です。南極にいるアザラシで恒温動物を捕食するのはこの種類だけ。獲物はペンギンが高い割合を占めていますが、他のアザラシの幼獣、魚、オキアミなども食べます。臼歯はカニクイアザラシに似たいくつもの凹凸があり海水のオキアミを濾(こ)して食べるのに最適です。



● ミナミゾウアザラシ Southern elephant seal

ミナミゾウアザラシは亜南極ほとんど全域にわたる島々に生息しているだけでなく、南極大陸の2、3の沿岸地域にも生息している大型哺乳動物です。世界最大のアザラシと言われており、その大きさは北極のセイウチを上回ります。雄は体長6m、体重は約4tで、雌は、体長3.6m、体重は約1tにもなります。



● ナンキョクオットセイ Antarctic fur seal

オットセイは、アシカ科の典型です。雄の体重は180kgにもなり背中中はオリーブグレイから銀色で、腹は褐色、真ん中に丸い模様があります。首と肩の粗毛は厚いたてがみになり、年をとると頭部に鳥冠が生えます。雌は50kgくらいで、たてがみも鳥冠もなく、胸や喉は薄いクリーム色をしています。



● アジサシ Antarctic terns

カモメにとっても近い鳥で、この2つのグループは同属であると考えている鳥類学者もいます。カモメが常に上昇気流や風の流れによって飛翔するのにに対し、アジサシは一直線に水平に飛びますほとんどのアジサシは沿岸性の鳥ですが、南極の種は広大な海の上を、長短さまざまな距離を移動します。



● サヤハシチドリ Snowy Sheathbills

ふっくらとして鳩くらいの大きさをしていて、どちらかと言えば白い鳩に似ています。足は三本の足指の間に未発達の水掻きがあるだけで、後ろの指はよく発達しています。体は純白でピンク色のたっぷりとした肉垂れがあり、巣籠もり中のペンギンの近くや海岸線に沿ってゆっくりと歩いているのをよく見かけます。



● トウゾクカモメ Southern Polar Skuas

南極大陸には二種類のトウゾクカモメが生息しています。どちらもずんぐりとした褐色の鳥でその習性はむしろ鷹に似ています。頑丈で曲がったくちばしを持ち、水掻きのある脚には一見獰猛なかぎ爪がついています。大型のオオトウゾクカモメは硬いくちばしを備え、全身が灰褐色の斑点で覆われています。



● アホウドリ科 Albatrosses

体長が大きく、細長い翼を持ち、短い尾と特有の飛翔パターンを持つアホウドリは海上で容易に見分けることができます。生涯のほとんどを空で過ごし、最小限のエネルギーで空中に浮かぶグライダー航法に熟達しています。アホウドリは、ほとんど羽ばたくこともなく何時間でも空を飛び続けられる鳥なのです。



● カモメ類 Petrels

カモメは主に沿岸地方に棲む海鳥で、ミナミオオセグロカモメのように高緯度で繁殖する種類は、しばしば冬の間、外洋を長距離移動します。長く幅広い翼を備えている割には、カモメはアホウドリやミズナギドリほど長い距離を飛ぶことができません。水掻きのある脚を持ち、水面を巧みに泳ぐことができます。

● ミンククジラ Mink whale

ナガスクジラ類で一番小型なのがミンククジラです。体長8m～10m、平均体重は6～8tで最大9tになります。鼻先が細く尖っているのが特徴です。体色は背中が濃い青灰色で、腹部が薄い灰色。胸鰭の上から青白い模様が背中まで伸びています。体の後ろの方に、体長に比べて大きな背びれがあります。

● ザトウクジラ Humpback whale

ザトウクジラはナガスクジラ科に属しますが、他の同科のクジラとは異なる属に分類されます。全般的な生態は他のクジラ類とほぼ同様ですが、いわゆるクジラ型という流線型の体型は備えていません。他のクジラ類と比べるとずんぐりしていて、平均体長は15mで最大19m、体重は30～40tで、最大では48tにもなります。



南極の旅行シーズン



アーリー・サマー (大きな冰山とペンギンの巣作り)

- 長い冬から目覚めた南極を体験します。
- 冰山は、巨大で広範囲に広がり純白からアクアマリンの色彩をおびています。
- 1,800万平方キロメートルにおよぶ南極海の氷が融解し、海水域が広がります。
- 風景は最高の状態で、日照時間は長くなり自然光が氷河を照らします。
- 雪の景観は未だ野生生物に荒らされておらず、無垢の状態です。
- ミナミゾウアザラシとウェッデルアザラシが海氷の上で脱皮し、南極の日差しの下で暖まっています。
- ペンギンは、求愛儀式を行い、巣作りを始めます。
- シャチは、夏の採餌シーズンに南極海域周辺に戻り、上陸地点近くでも観察できるようになります。

11月~12月中旬



12月下旬~2月上旬



ハイ・サマー (氷河の彫刻とペンギンの雛)

- 12月下旬から2月上旬までは日照時間が約20時間以上となり、一日が永遠に続くような錯覚を覚えます。
- 陽光と海水が冰山を浸食し始め、冰山を絶えず変化する芸術作品のように彫刻します。
- 気温が上がるにつれ氷河の崩落は活発になります。
- 最初のペンギンのヒナは12月下旬に孵化し始めます。大人のペンギンが沖合で魚やオキアミの採餌したり、ヒナと戯れる様子を観察するには最適な時期です。
- 特にウィルヘルミナ湾でのホエールウォッチングは素晴らしいものです。ウィルヘルミナ湾は、別名『ホエール・ア・ミナベイ』とも呼ばれています。

レイト・サマー (海洋生物&素晴らしい夕日)

- 2月中旬から南極観光シーズンの終わりまで、バックアイスが後退するために、さらに南の地域を探索する事が可能になります。
- 1日の日照時間が徐々に短くなり、日没は信じられないほどの美しさです。
- 氷河や冰山、海岸、上陸地点は、天候が不順になり、ほとんどの場合、この地域の気温は氷点下になります。
- ギトウクジラやミンククジラ、シャチがたくさん見られます。
- シロナガスクジラやナガスクジラ、イワシクジラ、ミナミセミクジラ、マッコウクジラとも遭遇できる可能性があります。
- この頃になるとペンギンのヒナは成鳥の羽根に生え変わり海に戻っていきます。親鳥は羽が生え変わる換羽シーズンを迎えます。

2月中旬~3月



雪と氷が織りなす美しい大自然と野生生物を見学する南極旅行の決定版!

ブエノスアイレス発着
フライト&ホテルパッケージ
適用コース(有料)

南極探検クルーズ

11日間
12日間

地球最後の秘境・南極。雪と氷が織りなす雄大な大自然と、ペンギンやアザラシなどの野生動物と出会える南極旅行の決定版です！この地には、長年にわたり探検家を魅了してきた数々の見どころがあります。クォーク・エクスペディションズでは、より深く南極を体感いただけるよう、多彩なオプションをご用意しています。当コースでは、南極半島の見どころを厳選した、初めての方にも最適なコースです。安全な極地探検船でドレーク海峡を横断し、ゾディアッククルージングや上陸活動を通じて、壮大な氷の世界と野生動物に出会う感動体験が待っています。ペンギンやクジラとのふれあい、轟音とともに崩れ落ちる氷河の迫力など、南極ならではの自然のドラマを間近で体感できます。

船内では、極地専門家による歴史・生物・氷河についてのレクチャーも実施。さらに、興味に応じて選べるアクティビティもあり、第7の大陸・南極を存分に満喫いただけます。私たちの探検クルーズが、ロマンあふれる旅の発見となり、人生観を変えるような体験となることでしょう。

●旅行開始日&終了日・期間・利用客船

ブエノスアイレス発着

旅行開始日～終了日	期間	利用客船
2026年 11月 6日(金)～11月16日(月)	11日間	WVO
〃 11月15日(日)～11月25日(水)	11日間	WVO
Xmas 〃 12月17日(木)～12月28日(月)	12日間	ULT
Xmas 〃 12月18日(金)～12月28日(月)	11日間	WVO
年末年始 〃 12月27日(日)～ 1月 6日(水)	11日間	WVO
年末年始 〃 12月27日(日)～ 1月 7日(木)	12日間	ULT
2027年 1月 5日(火)～ 1月15日(金)	11日間	WVO
〃 1月 6日(水)～ 1月17日(日)	12日間	ULT
〃 1月26日(火)～ 2月 5日(金)	11日間	WVO
〃 2月 6日(土)～ 2月17日(水)	12日間	ULT
〃 2月28日(日)～ 3月11日(木)	12日間	ULT
〃 3月10日(水)～ 3月21日(日)	12日間	ULT

※WVO：ワールドボイジャー、ULT：ウルトラマリン

ウシュアイア発着

旅行開始日～終了日	期間	利用客船
2026年 11月12日(木)～11月22日(日)	11日間	OEX
〃 11月21日(土)～12月 1日(火)	11日間	OEX
〃 11月30日(月)～12月10日(木)	11日間	OEX
〃 12月 9日(水)～12月19日(土)	11日間	OEX
Xmas 〃 12月18日(金)～12月28日(月)	11日間	OEX
年末年始 〃 12月27日(日)～ 1月 6日(水)	11日間	OEX
2027年 1月 5日(火)～ 1月15日(金)	11日間	OEX
〃 2月28日(日)～ 3月10日(水)	11日間	OEX
〃 3月 9日(火)～ 3月19日(金)	11日間	OEX

※OEX：オーシャンエクスプローラー

■スケジュール

日次	日程		食事 朝 昼 夕		宿泊
	ブエノスアイレス発着	ウシュアイア発着			
1	ブエノスアイレス到着 チェックイン・宿泊	ウシュアイア到着 空港からクォーク社提供 ホテルまで送迎 チェックイン・宿泊			ブエノスアイレス または ウシュアイア
	ブエノスアイレス泊				
2	朝 空港送迎、チャーター便 でウシュアイアへ移動 その後自由行動 午後 乗船手続 夕刻 出港	自由行動 乗船手続 出港	H	O	船中
3	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
4	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
5	終日	サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
6	終日	サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
7	終日	サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
8	終日	サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
9	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
10	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
11	朝 ウシュアイア入港/下船。港から空港へ送迎。 チャーター便にて ブエノスアイレス(エセ イサ空港)へ 到着後、解散	その後、各自フライトで 帰国	O		

(注) 上記スケジュール中、食事欄の「H」はホテルでの食事、「O」は船内食を表します。
※ウルトラマリン利用コースは、サウスシェトランド諸島と南極半島での観光が5日間となり、全行程は12日間となります。

- 集合地/解散地：アルゼンチンのウシュアイア または ブエノスアイレス
- 宿泊ホテル：【ウシュアイア】アルバトロス、カナル・ビーグル、ラス・レンガス、ロス・アセバス、ラス・ハヤス・ウシュアイア・リゾート、ホテル・ティエラ・デル・フエゴ
【ブエノスアイレス】エンペラドール、インターコンチネンタル、アルベアル・アート、シェラトン・ソフィテル
- 食事条件：【11日間コース】朝食10回、昼食8回、夕食 9回
【12日間コース】朝食11回、昼食9回、夕食10回



※記載の地図はイメージです。

南極探検クルーズハイライト

- 業界最高峰のエクスペディション・チームとともに、充実の南極観光を満喫
- 安全と快適な耐氷船での南極クルーズ
- 専門家による、野生生物・歴史・雪氷・地質学などに関するプレゼンテーションを楽しめる
- ペンギン、アザラシ、クジラなどの野生生物との出会い
- 追加オプションで、氷の世界へのさらなる没入体験
- 南極を上空から楽しむ、ヘリコプター遊覧飛行（ウルトラマリン利用コース対象）
- 市民科学プログラムの「サイエンス&ディスカバリー」（ワールドボイジャー利用コース対象）

■フライト&ホテルパッケージの内容

ブエノスアイレス発着

- (1) 日程1日目のブエノスアイレス宿泊朝食付
 - (2) 日程2日目の提供ホテルから空港までの団体送迎
 - (3) ブエノスアイレスとウシュアニア間往復フライト
往路：AEPアエロバルケ空港からUSHウシュアニア空港
復路：USHウシュアニア空港からEZEエセイサ国際空港
 - (4) 乗船日のウシュアニア空港から客船までの団体送迎
 - (5) 下船日の客船からウシュアニア空港までの団体送迎
- 注／日程1日目、ブエノスアイレス空港から提供ホテルまでの送迎は含まれていません。提供ホテルまでのご自身でお越しください。

ブエノスアイレス発着
フライト&ホテルパッケージ
適用コース(有料)世界でもっとも過酷な子育てをする鳥として知られる
コウテイペンギン探索：
スノーヒル島探検クルーズ 14日間

2004年、クォーク社は南極・スノーヒル島近くにある遠く離れたコウテイペンギンの営巣地を世界で初めて訪れ、極地探検の歴史に新たな一章を刻みました。真の探検精神と長年にわたる極地の専門知識に支えられた私たちのチームは、ウェッデル海の大量の氷と巨大な卓上冰山を航行し、8,000番のコウテイペンギンが繁殖していると言われる伝説の営巣地を訪れました。この場所は、地球上で最も特別な野生生物の観察場所のひとつとなっています。2004年の訪問から約20年、私たちは再びスノーヒル島のコウテイペンギンを訪ね、感動的な体験へご案内します。

当社の新造船ウルトラマリンに搭載されている2機の双発ヘリコプターで、めったに訪れることのできない営巣地の近くまでお客様をお連れします。そこでは、分厚い海氷を横切って歩くコウテイペンギンの姿を間近でご覧いただけます。「ペンギンの行進」やBBCの「フローズンプラネット」を彷彿させる光景をお楽しみいただけるでしょう。氷の上をトボトボと歩いて海へ向かうコウテイペンギンの姿を想像してみてください。そんな野生生物の瞬間は、言葉では言い表せないほど貴重なものです。

南極探検クルーズハイライト

- スノーヒル島へご案内してきた業界随一の実績を誇るエクスペディションチームと共に冒険へ
- 何千羽ものコウテイペンギンとその雛の営巣地を目指す探検精神にあふれた旅
- スノーヒル島付近で最大5日間滞在し、南極のウェッデル海エリアを探検
- 最新鋭のウルトラマリンの航海では、サウナなど快適な施設で大満足の洋上生活
- 定員150名に限定した親密で団結力ある探検クルーズを楽しむ
- エクスペディションスタッフはお客様4名につきスタッフ1名の手厚いサポート体制
- 専門家による野生生物、歴史、雪氷、地質学などに関するプレゼンテーションを楽しむ
- 上陸観光、ゾディアッククルーズ、そしてヘリコプターによる遊覧飛行と上陸体験で南極の大自然を満喫

● 旅行開始日&終了日・期間・利用客船

旅行開始日～終了日	期間	利用客船
2026年 11月 3日(火)～11月16日(月)	14日間	ウルトラマリン
〃 11月15日(日)～11月28日(土)	14日間	

- 集合地／解散地：アルゼンチンのブエノスアイレス
- 宿泊ホテル：【ブエノスアイレス】エンペラドル、インターコンチネンタル、アルベアル・アート、シェラトン、ソフィテル
- 食事条件：朝食13回、昼食11回、夕食12回

■ スケジュール

日次	日程	食事			宿泊
		朝	昼	夕	
1	午後 アルゼンチン首都のブエノスアイレスに到着 クォーク社提供ホテル宿泊				ブエノスアイレス
2	朝 ホテルからアエロパルケ空港まで団体送迎 チャーター便で空路ウシュアイアへ ウシュアイア到着後、乗船時刻まで自由行動 ウシュアイア出港	H	O		船中
3	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	O	船中
4	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	O	船中
5	終日 ウェッデル海に向け航海	O	O	O	船中
6	終日 ウェッデル海とスノーヒル島ペンギン探索	O	O	O	船中
7	終日 ウェッデル海とスノーヒル島ペンギン探索	O	O	O	船中
8	終日 ウェッデル海とスノーヒル島ペンギン探索	O	O	O	船中
9	終日 ウェッデル海とスノーヒル島ペンギン探索	O	O	O	船中
10	終日 ウェッデル海とスノーヒル島ペンギン探索	O	O	O	船中
11	終日 ドレーク海峡に向け航海	O	O	O	船中
12	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	O	船中
13	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	O	船中
14	朝 ウシュアイア入港／下船 港からウシュアイア空港まで団体送迎 チャーター便で空路ブエノスアイレスへ エセイサ空港到着後、解散	O			

(注) 上記スケジュール中、食事欄の「H」はホテルでの食事、「O」は船内食を表します。



※記載の地図はイメージです。

■フライト&ホテルパッケージの内容

- (1) 日程1日目のブエノスアイレス宿泊朝食付
 - (2) 日程2日目の提供ホテルから空港までの団体送迎
 - (3) ブエノスアイレスとウシュアリア間往復フライト
往路：AEPアエロパルケ空港からUSHウシュアリア空港
復路：USHウシュアリア空港からEZEエセイサ国際空港
 - (4) 乗船日のウシュアリア空港から客船までの団体送迎
 - (5) 下船日の客船からウシュアリア空港までの団体送迎
- 注／日程1日目、ブエノスアイレス空港から提供ホテルまでの送迎は含まれていません。
提供ホテルまではご自身でお越しください。

●クルーズ代金(大人／お一人様)

※クルーズ代金はウシュアリア港発着のものです。

※単位：米ドル(US\$)

利用客船		ウルトラマリン	
旅行開始日		11月 3日(火)	11月15日(日)
旅行終了日		11月16日(月)	11月28日(土)
期 間		14日間	14日間
客室タイプ	相部屋可 エクスプローラトリプル(3人部屋)	22,095	22,095
	エクスプローラスイート	25,995	25,995
	バルコニースイート	28,595	28,595
	デラックスバルコニースイート	33,795	33,795
	テラススイート	35,095	35,095
	ペントハウススイート	37,695	37,695
	オーナーズスイート	46,795	46,795
	ウルトラスイート	51,995	51,995
ソロパノラマ(シングル)		36,395	36,395
フライト&ホテルパッケージ(有料)		1,295	1,295

※クルーズ代金および各種オプションは変動制のため、最新料金はお問い合わせください。

(備考) フライト&ホテルパッケージは、クルーズ代金に含まれておりません。別途お支払いいただきます。



本コースは、ヘリコプターによる遊覧飛行と上陸体験がクルーズ代金に含まれています。